

## 別紙様式（府中市立上下北）小学校・学園

### 令和4年度全国学力・学習状況調査の 結果をふまえた指導改善策

#### I 調査の概要

##### 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

##### 2 調査の対象

小学校第6学年・義務教育学校第6学年の児童

##### 3 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童に対する調査
  - ・学校に対する調査

##### 4 調査日時

令和4年4月19日（火）

#### II 学力調査の結果【小学校・義務教育学校前期課程】

##### 1 教科に関する調査結果（平均正答率※）

	国語	算数	理科
全 国	65.6	63.2	63.3
広島県	67	64	66
府中市	65	63	63
（上下北小学校）	66	63	65

※平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

## 2 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容例
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し言葉と書き言葉の違いを理解する。</li> <li>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。</li> <li>○必要な質問をし、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉える。</li> <li>○相互の立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。</li> <li>○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉える。</li> <li>○登場人物の相互関係について、描写を基に捉える。</li> <li>○人物像や物語の全体像を具体的に想像する。</li> <li>○表現の効果を考える。</li> <li>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を捉える。</li> <li>○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。</li> <li>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。</li> <li>○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○被乗数に空位のある整数の乗法の計算をする。</li> <li>○二つの数の最小公倍数を求めることができる示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する。</li> <li>○示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する。</li> <li>○百分率で表された割合を分数で表す。</li> <li>○百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める。</li> <li>○示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。</li> <li>○伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する。</li> <li>○表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求める。</li> <li>○分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する。</li> <li>○目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る。</li> <li>○加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述する。</li> <li>○正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述する。</li> <li>○図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。</li> <li>○図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している。</li> <li>○示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断する。</li> </ul>

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。
- 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。
- 昆虫の体のつくりを理解している。
- 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。
- 観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。
- メスシリンダーという器具を理解している。
- メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている。
- 自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。
- 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。
- 日光は直進することを理解している。
- 問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している。
- 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。
- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。
- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。
- 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。
- 水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。

### 3 調査結果にみられる特徴と課題及び今後の改善策

#### 【国語】特徴と課題

- ◇人物像や物語の全体像を具体的に想像する。81.3%
- ◇文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。81.3%
- ◆登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。(読むこと)37.5%
- ◆文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。  
18.8%

◇…相当数の生徒ができている点 ◆…課題のある点

#### 【国語】改善策

- 文章を書く学習では、条件を提示し、条件を意識して、資料から情報を取り出したり、字数制限内で文を書いたりする経験を積ませる。
- 自分の意見を根拠をあげて表現できるようにするため、授業の対話的な活動でも、何のため、いつまでなど、見通しをもって計画的に話し合ったり、意見だけではなく、何を根拠としてそう考えるのか述べたりするよう指導する。
- 発問や質問に対して、必ず自分の考えをもたせる。それをもとに対話をするを通して、自分の考えの妥当性に気づいたり、より良い考えに改善したりする体験を繰り返し行わせる。
- 自分の文章を分析的に読む力を高めるため、低学年は「内容などのよさ」、高学年では「構成や展開」などを意識して書かせる指導を行う。

#### 【算数】特徴と課題

- ◇示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。93.8%
- ◇図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。93.8%
- ◆数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。12.5%
- ◆表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。56.3%

#### 【算数】改善策

- 授業の中で、必要な数字や言葉、式を使って答えを出す道筋を説明する場面や話し合う場面を十分に設定し、学習内容への理解を深めるとともに、条件を満たしながら、順序に沿って説明する力を育てる。
- 問題場面を理解する力を高めるため、授業の見通しの場面で、問題場面を図や式やことばで表させたり、解の見当を立たせたりする。
- 実生活(比や割合、並び替え)と結び付けた問題を用意して考えさせたり、実際に体験させたりして、学びを自分事として捉え、汎用性を高める。

#### 【理科】特徴と課題

- ◇指示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。87.5%
- ◇日光は直進することを理解している。50.0%
- ◆自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。50.0%
- ◆水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。43.8%

#### 【理科】改善策

- 児童自ら疑問を見つける「問題の見だし」を行うなど探究学習を行い、科学的に探究する力を高める。
- 「仮説を立て、実験し、考察する」といった探究の流れが形骸化しないように、観察や実験の結果を複数の視点で比較し、差や異なる点、共通点に着目させるなどの話し合いを行い、探究学習を主体的に進めるよう授業改善を行う。
- 日常生活から児童の疑問を見つけさせて課題を設定する。課題や考察を自分の言葉で書かせる。

### Ⅲ 学習状況調査の結果

#### 1 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

##### 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

- 家で自分で計画を立てて勉強していますか。93.8%
- 読書は好きですか。93.8%
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。62.6%
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。81.3%

##### 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。62.6%
- 新聞を読んでいますか。12.5%

#### 2 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

- 児童が困りごとや不安がある時に、いつでも相談できる関係を築くため、学級担任はクラスの児童一人一人に1日1回声掛けを意識して行う。また、担任外の教職員は、授業観察や校内の見回り等を行い、児童との関係性を築くようにする。
- 新聞を読む習慣や読書習慣を付けさせるため、家庭での読書を通信で呼び掛けたり、家庭学習で新聞や本を読むことを課題として出したりして、新聞や本を読む意欲を高める。
- 読書の推進を行うため、図書室へ各学年の必読本を掲示した必読本コーナーを作成したり、児童に必読本チェックカードを配布し、読んだ本を確認できるようにしたりする。

